

自治研修 あきた

No.66

発行 平成25年3月

発行者 秋田県自治研修所

TEL 018(873)7100

特別研修 ～「意識・知識・見識」とも日本一の職員を目指して～

平成25年度事業への反映を目指した事業提案の概要と研修の状況についてお知らせします。

「意識・知識・見識実践研修」

○研修状況

「意識・知識・見識」とも日本一の県職員を目指そうとの佐竹知事のメッセージのもと、平成22年度から始まった特別研修。

3年目となる今年度は、各部局長、地域振興局長及び教育長からの推薦を受けた主査総勢24名により、5月31日から4ヶ月にわたる研修がスタートしました。

研修生は、研修所での講義のほか、日程調整に苦労しながらもグループ研究、現地視察などを行い、課題発表、中間発表、プレゼンテーションリハーサルを重ね、最終日の政策提案（プレゼンテーション）に向かいました。

当研修の先輩受講生たちはサポーターとして協



力し、中間発表で提案内容に対するアドバイスをを行いました。

また、課題発表、中間発表に出席した人事課長からは、内容に対するコメントのほか激励の言葉がありました。



（中間発表：自治研修所）

○政策提案（プレゼンテーション）の状況

政策提案は、10月4日、午後1時から県庁第2庁舎8階の大会議室で行われました。

各グループは、持ち時間20分で発表し、佐竹知事をはじめ、全県から約200名の職員が聴講しました。

各発表者は、何度もリハーサルを行った成果が出て、堂々としていてすばらしいものでした。

出席者との活発な質疑応答が行われ、最後に、佐竹知事からねぎらいの言葉や各発表に対するコメントがありました。



（政策提案：第2庁舎）

また、この日はNHKが取材に訪れ、当日の夕方6時のニュースで発表する姿やインタビューの状況（グループ1の発表者、地域産業振興課 主査 吉田和之さん）が放映されました。

○新年度事業として反映された政策提案の概要

各グループの事業提案の多くが、関係課などの検討を経てブラッシュアップされ、平成25年度事業に反映されました。

★提案の詳しい内容は、秋田県自治研修所

ホームページでご覧いただけます。

<http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1352169503211/index.html>



(全員写真、牧瀬 講師と一緒に)

平成24年度特別研修「意識・知識・見識」実践研修職員提案一覧			
発表	戦略名	提案テーマ	提案事業名
グループ1	戦略1 『産業経済基盤の再構築戦略』	延べ県外宿泊客数の増加に向けての提案	スマートフォンを活用した情報提供事業
			近畿地方から修学旅行誘致事業
			新たな観光資源発掘事業
グループ2	戦略2 『融合と成長の新農林水産ビジネス創出戦略』	「直売施設から」はじまる農産物の販売拡大 ～観光客をターゲットとした販売戦略～	〈その場で買ってもらうための〉 農産品加工への取組み支援事業
			〈秋田の食を記憶に残すための〉 直売施設での販売強化支援事業
グループ3	戦略3 『県民参加による脱少子化戦略』	若者人口の増加による脱少子化 ～若者がカエればアキタがカワル～	県内企業情報発信事業
			大学連携Aターン就職支援事業
			新入社員仲間づくり事業
グループ4	戦略4 『協働社会構築戦略』	県民の社会活動への参加促進	「秋田県協働の日条例」の制定
			社会活動体験ツアー事業
			協働推進企業認定制度

研修生代表 秋田地域振興局農林部 主査 三浦貴子さん（グループ3）

4つのグループに分かれて、それぞれのテーマで政策提案を行う。研修初日、私は『面白そうな研修だ』と感じた。

日常業務で使う頭とは違う頭の使い方をすることは、いい頭の運動になるし、現場とは少し違う空気を吸うことで自分の仕事を客観的に見ることができるのではないと思った。

しかし、その思いは、グループ研究を進めるにつれて苦悩に変わっていくこととなった。

講師の牧瀬先生や民間企業の社長さんの講話は、充実した内容で非常に参考になった。ところが、グループ研究になると、普段目一杯仕事をこなしている脂の乗った30～40代がそろって頭を抱えた。

「ふるさと秋田元気創造プラン」の各成長戦略では、自分たちが思いつくことは全てやり尽くされていたのだ。私もいち県民として、使いたい制度が沢山あった。特に自分の専門分野外では、知らない制度も沢山あった。この中でどうやって政策提案をしたらいいのか、どこに活路を見いだしたらいいのか、みんなで悩んだ。

今、振り返ってみると、牧瀬先生や自治研修所、担当部署など、多くの方々からの助言をいただきながら、みんなで悩んだ過程にこそ、この研修の意味があったのではないと思う。かくして、我々は4グループ全てでプレゼンテーションを無事に終えることができた。終わりよければすべてよしである。

現状がどんなに厳しくても、目指す方向や目標が明確であること、同じ目標に向かって行ける仲間を増やすこと、一丸となって取り組むことを忘れてはいけないと改めて感じた充実した研修でした。この研修で御指導をいただいた全ての皆様に、研修受講者一同、心よりお礼申し上げます。



(プレゼンテーションをする三浦さん)

【担当：村上 寛】

東北自治研修所研修

平成24年6月28日～29日に行われた研修に参加した **柴田理さん（水産振興センター）** に、その内容について聞きました。

この科目は、住民説明会や議会での答弁を想定した

管理者向けプレゼンテーション能力及び議会対応力を

向上させる研修として平成23年に新設されました。

来年度、是非応募してみては？

「説明力・表現力向上コース」

宮城県にある東北自治研修所で開かれた標記に参加しました。仙台市営地下鉄の駅からバスで20分ということで、「仙台市街よりはちょっと田舎かな」くらいに思っていたのですが、予想以上に“郊外”でした。

そして宿泊室に入って滞在中の注意書きを読むと、「ツキノワグマが多く出没しています。夜間の外出は控えて下さい」…。たとえ日中でも1対1ではお会いしたくないと思いました。

さて、集まったのは福島県を除く東北5県の県や市等の職員でした。顔ぶれは町の総務課、食肉衛生検査所、病院の看護師、高校の事務職、それに水産職等、結構多彩でした。

1日目は自己紹介から始まりました。と言っても、講師からは早速「一連の動きを30秒で行ってください」との指示。演壇まで歩き、参加者を見渡して一礼し、視線を上げて所属・氏名を名乗り、一礼して去る。この間30秒。視線の振り方、止め方、間合いなどが細かく指導されます。「次は最近嬉しかったことを、1分で」。「今の仕事に就いて良かったと思うことを、これも1分で」。

課題は仕事の内容に移っていきます。「資料に書かれている内容を、判りやすく3つ以上のセンテンスに直して説明してください」。マイクの前で意味を正確に伝えようとすると視線が止まってしまう、全員を見渡そうとすると、言うことを忘れてしまったりと、冷や汗ものでした。

ようやく1日目を終えて懇親会。参加者の一人が持ち込んでくださった秋田の酒を酌み交わ

しながら、1年ちょっと前に起きた震災のことなども語り合いました。

2日目は引き続きプレゼンテーションの訓練。「長いセンテンスは意図をきちんと伝えられませんか。1分間に『。』（句点）は6つくらい作るよう意識してください。句点のところでは誰か一人に視線を止めてください」、「伝えたい内容が複数の項目にわたる時は、ひとつ目、ふたつ目等がきちんと判るように説明してください」。

中でも最も重きが置かれたのは、住民の代表である議員の方々に、どのようにして私たちの行っていること、またこれから行おうとしていることを丁寧に説明して理解していただくかという実践でした。

こちらの伝えようとすることを一方的に話すのではなく、相手の発言内容を理解し、整理し、真意を汲み取った上で、もれなくダブリなく的確に答えるための模擬練習が行われました。「予期した質問に“待ってました”と多弁になるのは禁物です」、「メモを見すぎて相手をあまり見ていません」。「相手が聞きたいのはそのことでしょうか」…またもや冷や汗。

中身の濃い2日間の研修に心地よい疲労感を感じながら、熊の出る地を後にしました。

住民の方々への対応、上司への報告、スタッフへの指示等、情報伝達は行政職員にとっては大切なことです。情報をきちんと共有するためのスキルを学ぶ点で、大変魅力的な研修でした。

でも、女性や男性を口説くためには、野暮ったすぎますね。

「僕はあなたを次の3点で好ましいと思います。ひとつは…」。



◆平成25年度東北自治研修所研修◆

区分	研修種別	研修対象(東北六県)	日数	人数	回数	実施月日(予定)	研修内容(予定)	備考
I 一般 研修	1. 主任級職員研修	県・市町村職員 (一部事務組合を含む)	26	30	1	第1回 7月1日(月)～7月26日(金)	若手職員が現場で実践できるように問題解決・政策形成能力の向上を図る研修	全寮制
	2. 中堅職員研修		61	50	2	第192回 8月19日(月)～10月18日(金)	I 法制経済科目 II 行政運営科目 III 運営科目 IV 一般教養科目 V その他 総合的な資質向上を図るとともに、地方分権の進展に対応できる行政の中核を担う将来のリーダーとなる職員の育成を目的とする研修	
			61	50		第193回 10月21日(月)～12月20日(金)		
	3. 管理者研修 (説明力・表現力向上コース) (政策形成技法(TM法)コース) (政策形成理論コース) (マスメディア対応コース)		2	30	4	第121回 5月30日(木)～5月31日(金)	住民説明会や議会での答弁を想定した管理者向けプレゼンテーション能力および議会対応力を向上させる研修	
			3	60		第122回 9月25日(水)～9月27日(金)	理論的思考による問題解決、意思決定手法である(TM法)を学ぶ研修	
			3	60		第123回 11月20日(水)～11月22日(金)	経営戦略の発想による政策形成理論や技法を学ぶ研修	
			2	60		第124回 1月23日(木)～1月24日(金)	管理者として適切なマスメディア対応や記者会見の実習を行う研修	
	4. 研修企画・指導者研修(基本コース)		4	30	1	第29回 5月7日(火)～5月10日(金)	研修担当者として必要とされる研修企画立案、指導法及び講義実習を行う研修	
	5. IJERT指導者養成研修		4	18	1	第12回 6月18日(火)～6月21日(金)	高い倫理に基づく公務運営をめざして人事院が開発した研修(公務人材開発協会)	
	6. 接遇研修指導者養成研修		4	20	1	第27回 6月11日(火)～6月14日(金)	公務人材開発協会講師と民間CS接遇講師による指導で、多角的に接遇研修指導者としてのスキルを学ぶ研修	
	7. OJT実践コース指導者養成研修		3	20	1	第18回 5月22日(水)～5月24日(金)	コンピテンシーとコーチングの要素を取り入れ、ロールプレーにより職場研修の指導法を実践的に学ぶ研修(公務人材開発協会)	
事業 特別 研修	8. ハラスメント防止指導者養成研修		2	30	1	第3回 7月18日(木)～7月19日(金)	ハラスメント(セクハラ・モラハラ)の現状と防止策、対応策について制度及び事例、判例等をとおして学び、研修講師や職場リーダーを養成する研修	
	9. 政策法務研修		4	30	1	第11回 6月24日(月)～6月27日(木)	政策法務全般(政策立案、案例作成実習)(経験者同)	
	10. 行政課題研修 (地域経済活性化コース) (新公共経営(NPM)コース) (少子・高齢問題コース)		3	30	3	第31回 9月11日(水)～9月13日(金)	事例紹介・検討を通じて産業振興及び地域経済の活性化について学ぶ研修	
			3	30		第32回 8月26日(月)～8月28日(水)	新公共経営の理論を学び、行政評価・民間委託・公社・計制度等の最新動向を研究する研修	
			3	30		第33回 10月8日(火)～10月10日(木)	少子・高齢問題の理解と解決策を学ぶ研修	
	11. セミナー		1	200	1	第9回 未定	平成25年度特別講演	
計 (11課程) 17コース			189	578 ¹⁾	17			



▽財団法人東北自治研修所ホームページ

<http://www.thk-jc.or.jp/thk-index.htm>

受講生の募集については、新年度に入ってから、自治研修所または各市町村の研修担当からお知らせします。

他県の職員とも情報交換できる良い機会です。自分に必要と思われる研修、興味がある研修に参加してみてもいいかもしれません。

皆様のご応募をお待ちしております。



役 職 段 階 別 研 修

今年度、前期・中期・後期と3回に渡って実施した「新規採用職員研修」について紹介します。



「新規採用職員研修」

今年度の受講者は、職務経験がある職員も含めて、県職員が107名、市町村職員が137名、併せて244名でした。

◆前期研修（市町村職員との合同研修）

“公務員としての自覚を持ち、秋田県について学ぼう”と、「公務員倫理」や「接遇・ビジネスマナー」など、公務員として知っておくべき基本事項を学び、「知事講話」をはじめ、「秋田県の姿」や「秋田県の重要課題」などの講話を通して、自分たちが暮らす秋田県について改めて考え見つめ直す研修内容としました。



研修が始まる前は、ソワソワ、ドキドキ…。



「接遇・ビジネスマナー」の科目では、姿勢やおじぎの仕方もチェック！

皆さん、かなり緊張してますね～。

◆中期研修（県職員単独研修）

“県行政のしくみを理解し、具体的な実務を身につけよう”と、会計事務や文書事務など職場で必要とされる具体的な実務を学び、自分がやるべき仕事をしっかり把握します。

また、実際に県議会の本会議を傍聴して、その流れや議会のしくみについて学びました。

本会議終了後、お忙しい合間をぬって受講生を激励しにサプライズ登場のお二人です！



【大里県議会議長】



【佐竹秋田県知事】



県職員になっても、特に若いうちは出入りする機会がない本会議場。

実際に議会を生（ライブ）で傍聴したことにより、責任感とやる気がアップしたのではないのでしょうか？

将来、この中から本会議場に着席する職員が出てくるのが、今から楽しみです。

◆後期研修（市町村職員との合同研修）

“半年間の業務経験を踏まえて、住民の視点に立った行政サービスを考えよう。”と、自分の仕事の位置づけを明確にし、前期研修で立てた半年後の目標がどの程度達成されたのかをチェックします。

また、県職員は2日間、福祉施設等へ出向き、住民ニーズの多様さや行政サービスの在り方について考える貴重な時間を体験しました。



良い仕事をするためには、自己の健康管理も重要ですので、今年度から「運動」、「栄養」、「メンタル」の3本柱による講義・実技指導を行っています。

自分の体の固さや、カロリーの摂りすぎに驚き、唾然とする場面も・・・(笑)

リズムに合わせて体を動かしたり、ペアになった相手を信用して自分の体重を預けたり～。同期の絆がよりいっそう深まったかな？

『元気な秋田県にするために』は、昨年度から実施している科目です。

県内外または世界を相手に様々な分野で活躍されている秋田にゆかりのある同世代の方々を講師に招き、講話をいただいています。

今年度は、[金谷さおりさん](#)（ウェブサイト「[あきたのかお](#)」編集長）、[小森智秀さん](#)（第50次日本南極地域観測隊）、[山内貴範さん](#)（フリーライター）からお話いただきました。

パワフルに熱く語る講師の姿は、研修生にとって大きな刺激になったようです。

◆平成25年度の実施予定日

前期研修 4日間×4回

- ① 4月23日（火）～26日（金）
- ② 5月 7日（火）～10日（金）
- ③ 5月14日（火）～17日（金）
- ④ 5月21日（火）～24日（金）

中期研修（予定）

6月25日（火）～28日（金）

後期研修 5日間×3回（市町村職員は3日間）

- ① 9月30日（月）～10月 4日（金）
- ② 10月 7日（月）～10月11日（金）
- ③ 10月21日（月）～10月25日（金）

来年度の前期研修では、仕事の基礎となる部分をより分かりやすく集中的に行うこととし、中期研修では、すぐに職場で活かせる具体的内容にカリキュラムを変更しました。

また、外部講師についても、新たな分野の「達人」を予定しています。ご期待ください！

「ゆとり世代」と呼ばれる若者たちに向けられる視線は年々厳しいものがありますが、毎年の受講生を見る限り、そんな視線を吹き飛ばすぐらいのやる気と頼もしさが感じられます。

これから伸びようとしている芽を、まっすぐに大きく育てていくためには、職場の環境づくりも大事です。

来年度からは、新規採用職員とその上司が一緒になって仕事の目標を設定してもらう科目も予定しています。

組織の一員として一日も早く実力が発揮できるよう、サポート体制もしっかり築いていきたいですね。



【担当：佐藤 晃子】



まめ知識

今回は頭の体操をしてみましょう！ では、早速問題です。

第1問！

「キリンを冷蔵庫に入れるにはどうしたらいいですか？」



キリンが入るくらいのでっかい冷蔵庫を用意する？
ドラえもんに頼んでスモールライトを借りる？
キリンビールを入れる？

答えはいたって簡単！前提条件まで考えなくてもいいですよ。
与えられた課題の本質をいかにシンプルにとらえて
行動に移すことができるのか？が大事ですよ。



ANSWER

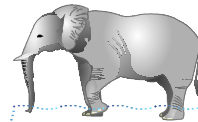
1. 冷蔵庫の扉を開ける
2. キリンを中に入れる
3. 扉を閉める

では、第2問！

「その冷蔵庫に象を入れるにはどうしたらいいですか？」



これは簡単！さっきと同じよね〜と、思ったアナタ。
残念でしたあー！！
まず、冷蔵庫の中を確認しなくちゃダメでしょ。
仕事を始める前には現状確認！コレ、基本ですよ。



ANSWER

1. 冷蔵庫の扉を開ける
2. キリンを取り出す
3. 象を中に入れる
4. 扉を閉める

「やわらかい頭」でいい仕事をしましょう！

▽編集後記



今年度も残りわずかとなりました。

雪が多くて「長かったあ〜」という印象だったこの冬、皆さんは元気に乗り切りましたか？

私の唯一の自慢は、県庁生活20年の間、一度も風邪を引かなかったことです。元来、体が丈夫なこともあります。が、「体調不良で仕事に穴を開けたくない！」という気合いと、うがい・手洗い・マスクなどで未然予防対策をしっかり行っていたことが大きな理由だと思っています。

そして、よく食べ、よく寝て、クヨクヨ悩まないこと。やっぱりこれが一番ですよ！

4月になるとフレッシューズが入庁してきます。良いお手本となれるよう、先輩たちも自分の健康管理について今一度見直してみてもいいかがですか？